



「富嶽三十六景 赤富士」
葛飾 北斎

通所リハビリテーションの利用者様が、作業療法の時間に手先訓練として、色花紙を団子に丸めて、それを貼り付け、壁画に仕上げました。



藤枝市中ノ合 26-1
医療法人社団 やしまかい 八洲会
誠和藤枝病院
〈054〉638-3111(代)

診療時間
月～金
午前 9:00～午後 5:00
土曜日
午前 9:00～正午 12:00

新年のごあいさつ

誠和藤枝病院 院長

浅川 建史

あけましておめでとうございませう。
誠和藤枝病院は、職員一丸となって、
高齢者医療の充実にむけて精進して
まいります。

これからの社会の避けて通れない
この課題について、さまざまな立場の
方々からのご提言をお待ちします。

本年も、皆様やご家族にとりまして、
いい年でありますように。



今年の抱負

病棟主任看護師 江原 志信

インフルエンザも、報道によりますと、A型連型インフルエンザという新型も加わり早くから流行り出し、急に寒くなってきました。私個人の抱負としては、健康管理に気をつけたいと思います。

私の勤務している1B病棟は、認知症患者様がほとんどですので、



秋の遠足 広場にて



秋の遠足 昼食風景

コミュニケーションを取るの難しく、御家族様とのコミュニケーションがすごく大事となっております。

病棟としての今年の抱負は、当たり前前の事ですが、患者様の為の看護、介護を行っていきたく思います。その為には、スタッフ間の連携、医師、事務所との連携が大切だと思います。連携が上手くいっていないと、患者様にも影響を及ぼすと共に、御家族様との信頼も損ない兼ねないと考えられます。

すので、連携がさらに上手く行くように心がけ、コミュニケーションを取るために、努力して行きたいと思えます。

ケアマネージャーになって…

ケアマネージャー

瀧浪 真由美

ケアマネージャーの仕事を始め、三ヶ月が経とうとしています。



葉梨地区ふれあいまつり 出品展示

初回の訪問時には緊張のあまり自己紹介と利用者様の状態を伺うだけで精一杯でした。でも何度かお話し、お話を聞かせて頂くうちに、御家族の介護負担の大きさ、利用者様の家族への思いの強さ、家族以外の人間関係の複雑さと地域性へのこだわり、医療との連携の必要性など多くのつながりの中で在宅生活を送っていらっしゃる事が分かってきました。又その調整の難しさがケアマネージャーの一番の悩みである事も…。

日本は超高齢社会に突入し、利用者様の生活や状況も年々変化しつつあります。それでも変わらない願いは『歳をとっても家族と一緒に自宅で安心して暮らしたい。』それだけです。私はその支援の為に知識を深め、様々な訴えに耳を傾け、利用者様とご家族に安心と信頼を提供できるケアマネージャーを目指したいと思えます。



自己紹介

看護師 清水 輝子

こちらの病院に入職して、5ヶ月が過ぎました。私は3A病棟に配属され、初めの頃はベッドより離床している患者様の名前と顔が一致せず、スタッフの皆様に聞きながら処置の援助を行っていました。最近では、部屋持ち担当もさせて頂き、患者様の現状について



『乙女椿』慰問公演

患者様との関わりやスタッフ皆様
に聞いて、現状を掴む様に努力し
ている所です。

患者様と関わる上で欠かせない
看護・介護を、未熟な私ですが一
つ一つ学んでいきたいと思えます。
宜しくお願いします。

自己紹介

通所リハビリテーション

介護職員 小林 晴美

昨年八月に主人を病気で亡くし、
長男、長女、次女、義父母の六人
家族（+愛猫一匹）となってしまう
いました。一家の大黒柱を失った
私達家族は、生活が大きく変わる
事を余儀なくされました。農業を
二十年間やってきた私にとって、
介護という職業は、全くの未知の
世界で、最初は、不安・戸惑いが
一気に押し寄せました。徐々に慣
れてきたとはいえ、まだまだ落ち
込む日も少なくありません。しか
し、職場の先輩達をはじめ、家族、
周りの人達の支えにより、何とか
一日一日を送らせて頂いておりま
す。自分で選んだ道ですので、しっ



葉梨西北小学生との交流会

かり一步、一步、進んで行きたい
と思っております。どうぞ、宜し
くお願い致します。

四十七歳の初心

事務 海野 彰

人生の中で大切な事があるとな
れば、やはり、人との出会いとタ
イミングであるように思う。中々、
自分自身では、判別が付かないで

大事な時を逃してしまう事が多い
ようだ。

さて、私にとっての誠和藤枝病
院との出会いは如何なるものか!!
期待で溢れているのと同時に不安
も募るのが四十代後半のおやじな
のである。しかし、毎日が新鮮で
あり、何年かぶりに初心という言
葉を思い出した。

松下電器の創立者である幸之助
氏が、ある書物で書かれていたが、
『青春とは、心の若さである。日
に新たな活動を続ける限り、青春
は永久にその人のものである。』
と。確かこの言葉は高校時代に
感銘を抱き、今でも私の座右の銘
でもある。体は重力に逆らえなく
なってきた。しかし、心の持
ち方で、心機一転、この誠和の地
で張り切っていきたい。



高齢者の医療事務に携わって

事務長 上山 千歳

昭和 46 年から 2 度目の職業として、医療事務の仕事に就き、点数・薬価早見表を片手にソロバンを使ってのレセプト（明細書）作成、それぞれの患者様のカルテを読みとり、1 枚のレセプトが完成した時の達成感、そして毎年 4 月に点数・薬価改正があり、マンネリ化の事務ではなく、改正にむけて取り組むことが出来“やりがいのある仕事”とずっと自負してきました。ところが最近では、電子化された医療事務と、めまぐるしい制度改正に日々とまどいを感じております。

誠和藤枝病院は、平成元年 4 月より志太榛原地域で最初の高齢者の病院として開院。私も同時に入職。約 20 年高齢者の医療事務に携わってきました。その間、高齢者医療の様々な変遷がありました。

- 1973 年 (S.48) 老人医療費負担金無料化
10 年後には再び有料化になり、負担金は増加の一途をたどっている
- 1975 年 (S.50) 特例許可老人病院となる
- 1993 年 (H.5) 療養病床群となり、包括制(医療行為を行っても同額の算定)開始
- 2000 年 (H.12) 介護保険制度開始
- 2006 年 (H.18) 食費・居住費の保険はずし、自己負担となる

※2015 年までに全国に 38 万床ある療養病床を 15 万床に削減

この大きな制度改正にむけて、“地域の病院として、愛される病院として、どのように対処していったらいいのか”じっくり考え、研究し、様々なご意見をいただきながら、方向性を見出していきたいと思っております。



職 員 募 集

- ◎正・准看護師
- ◎理学療法士
- ◎作業療法士
- ◎言語聴覚士
- ◎介護支援専門員
- ◎介護職員

詳しいお問い合わせは (054) 638-3111 担当 事務長まで

編 集 後 記

新年明けましておめでとうございます。
新しい一年が始まりました。今年も健康に気を付けて、頑張っていきましょう。
院内報発行にご協力いただき、ありがとうございました。